

久保孝ペイント

T-upソランデ

T-up II をベースに体積制御機能を付与した低収縮タイプで、従来に比べそり上がりが少ない。防錆鋼板への対応力強化

のため、密着性をより高めた。また乾燥時間が短縮できるよう、硬化の早い成分を使用し、空気による硬化阻害にも対策を施している。

ラインアップは鍍金パテ（適用膜厚

20mm以内）、中間パテ（同10mm以内）、ポリパテ（同2mm以内）の3種類。ベースはS、W、SWとあり、季節による主剤の使い分けを推奨している。硬化剤はT-up専用の標準型をすべてに使用できる。



ソーラー

極

樹脂骨格を変えることで高い密着性を実現し、スチレンなどで収縮した分を補う添加剤を入れることでパテの収縮を限りなくゼロに近づけた。また、薄い鋼板に付けても歪まず追従する柔軟性を持ち、ペーパーに絡みにくくサクサクと研げる。

シリーズは80（厚付けパテ、膜厚10mm）、120（中間パテ、同5mm）、180（ポリパテ、同3mm）の3種類をラインアップ。

ピアン

約6年前から開発していたスチレンを含有していない環境対応型パテ。現在は、120（中間タイプ）と180（細地タイプ）の2種類を用意。

密着性が良好な上、塗膜のキメが細かくスアナができてにくい。研削可能時間は、120が20℃×60分以内、180が20℃×80分以内。

今後は厚付けタイプの追加と、さらに乾燥性と研削性の向上を予定している。

